



十三湖水戸口突堤

選奨土木遺産認定記念式典を開催

1月13日、岩木川改修期成同盟会主催による「十三湖水戸口突堤 選奨土木遺産認定記念式典」が開催されました。

この記念式典は、十三湖水戸口突堤が平成28年9月16日に土木学会選奨土木遺産に認定されたことを記念し執り行われたものです。

式典では、土木学会東北支部長である、東北地方整備局 川瀧弘之局長より、推薦者である佐々木幹夫氏（八戸工業大学大学院 教授）へ認定書が、また、五所川原市 平山誠敏市長へ銘板が授与されました。



川瀧支部長（左）から認定書・銘板を受け取った佐々木教授（中）、平山市長（右）



十三湖水戸口突堤（写真左）は、大正15年に着工、昭和21年に完成し、それまで閉塞とそれに伴う湛水被害を繰り返して発生させてきた水戸口の歴史に幕を下ろし、その効果により現在まで水戸口が閉塞することなく維持されていることや、十三湖の漁業や津軽平野の農業振興にも寄与してきたことから、「地域を苦しめた度重なる水戸口閉塞による湛水被害を解消し、岩木川の治水と津軽平野の発展の礎となった貴重な土木遺産」として評価・認定されたものです。